国土交通省
Ministry of Land,Infrastructure,Transport and Tourism

# 東北地方整備局新聞

第2号
2025年(令和7年)
7月10日

発行所　国土交通省東北地方整備局　〒980-8602　宮城県仙台市青葉区本町3-3-1　仙台合同庁舎B棟　電話022-225-2171(代表)　https://www.thr.mlit.go.jp/

## 青森と福島で現場見学会を開催

### in 青森県

7月4日に青森県と福島県にて現場見学会を実施したので、実施状況を紹介する。

当日は生憎の梅雨模様だったが、弘前工業高校土木科3年生3名、青森工業高校都市環境科3年5名、計8名が参加した。

見学箇所は、道路工事現場、ダム施設、青森港海上視察と多岐にわたり、初めて経験する現場に、どの現場でも積極的に質問がされた。


▲浅瀬石川ダム

梅雨空を吹き飛ばす熱気に包まれた見学会となった模様。

参加者から「ダムや港湾など普段目にしているインフラが、どのように維持・管理しているのかよく分かった。今後このような仕事が出来るよう勉強がんばりたい。」との感想があった。将来国交省を背負って立つ若手がこの中から育ってほしいなと思いながら、見学会を終えた。

### in 福島県

福島県内では現場見学会に5名が参加した。

国道399号伊達橋、三春ダム、勿来トンネルと各地を巡り、整備局職員や工事現場責任者からの説明を熱心に聞き入り見学していた。


▲R399 伊達橋

移動中も宿舎環境や転勤頻度、異動範囲など、東北地方整備局の勤務等に関する質問が寄せられた。

また、職員からUAVや無線資格を取得できることや充実した研修制度の説明もあり、参加者は自身の成長につながる環境にも興味を示した。

最後に現場見学会は参加者全員の試験合格と将来の活躍を祈念して終了した。

現場見学会は今後秋田県、岩手県、宮城県、山形県で開催する。現在岩手県分（7月29日）のみ参加者を7月22日まで募集している。

## 管内業務発表会を開催

### 出展70題

6月19日・20日の2日間にわたり、東北地方整備局管内業務発表会を開催した。

東北管内の現場・業務内容の成果や課題を共有し、職員同士の学びや連携を通じて東北の技術力向上を図ることを目的に開催している。

発表会では「防災・減災」、「メンテナンス」、「新技術」、「インフラ活用・アカウンタビリティ」、「マネジメント」、「業務効率化」の6つのテーマについて、東北地方整備局の職員の他、自治体および民間企業が発表した。

発表会後には参加者から問い合わせがあるなど、活発な意見交換が行われた。

また、厳正な審査の結果、最優秀賞を含む各賞の選定が行われ、7月22日に授賞式が行われる。

発表70題の論文は東北地方整備局のHPにて公開している。


▲発表会の様子

## 官庁訪問実施中

国土交通省東北地方整備局では、今年度の官庁訪問が7月2日を皮切りに始まった。

官庁訪問の対象は国家公務員採用一般試験（大卒程度試験）第1次合格者の令和8年度採用を目指している方となる。

7月9日～25日は官庁訪問禁止期間となっているが、それ以降も実施する。

なお、官庁訪問を希望する場合、事前にインターネットから希望日時の申し込みが必要となっており、後日、実施日をメールにて連絡する。

申し込みは下記QRコードからも可能となっている。

官庁訪問の際は『訪問カード』を持参の上、東北地方整備局の業務について知る機会として、リラックスして来てほしい。

**官庁訪問の申し込みフォームはこちら↓↓↓**

| 事務系（道路・河川・不動産関係） | 事務系（港湾空港関係） | 技術系（共通） |
|---|---|---|




## コラム 徹頭徹尾

国土交通省は今年1月に25年目を迎えました。今年1年間にわたり、新たな広報戦略「MLIT Road 25」を実施することとし、記念のロゴマークを作成しました。

国土交通省の英文名称と「MLIT Road 25」を組み合わせたロゴに加え、国土交通省が”歩んできた道のり”と発足から”25周（年）目”という二つの意味を込めて、国土交通省シンボルマークにも使われている赤色を使用した環を配置しました。